2026年11月13日

各　位

会社名　monoAI technology株式会社
（東証グロース・コード　5240）
代表者名　代表取締役社長　本城　嘉太郎
問合せ先　取締役管理本部長　松岡　壮
電話番号　03-6273-2753（代表）

（開示事項の経過）新たな事業（フィジカルAI事業）に関する遠隔操作ロボットサービス「即ロボ」の発表及び法人モニター募集開始のお知らせ

記

1．前回開示からの経過

前回開示では、フィジカル AI 事業において提供を予定するサービスとして、①導入前シミュレーション、②汎用テレオペレーション（遠隔操縦）基盤、③ロボット導入・運用サービスの3つをお示ししました。

今回発表する「即ロボ」は、このうち②の遠隔操縦の仕組みを用いて③の現場導入・運用を行うサービスとして、顧客企業に向けて具体化したものです。今後は法人モニターを通じて、対象業務や導入条件を整理し、実用化に向けた検証を進めてまいります。

2．「即ロボ」の概要

サービス名	即ロボ
提供主体	monoAI Robotics株式会社（当社100%子会社）
サービス内容	離れた場所にいる人（オペレーター）がロボットを遠隔操作し、顧客の現場の作業を支援するサービス。人の判断とロボットの動作を組み合わせ、現場ごとに異なる作業や環境への対応を目指します。
遠隔操作を採用する理由	実際の現場では、物の形や置き方、作業の順序、周囲の状況が変わり、すべての作業をロボットの自律動作だけで安定して完結させるには、なお課題があります。人が状況を確認しながら操作することで、こうした変化に対応します。
想定する顧客	製造・物流・小売・介護等の分野で、人材の確保や夜間・早朝の人員配置、繰り返し作業の負担に課題を抱える法人
正式提供の開始時期・料金	法人モニターでの検証結果を踏まえて決定します。

3．法人モニター募集の概要

目的	顧客の現場の課題や業務内容を共有いただき、ロボットの適用可能性や運用上の課題を共同で検証すること
対象	地方で採用・人員確保が難しい企業、夜間・早朝の人員配置に悩む企業、繰り返し作業の負担を減らしたい企業、まず一つの工程からロボット活用を検討したい企業
検証を想定する業務	製造：部品の補充、箱詰め等の繰り返し作業 物流：検品、梱包等の作業 小売：商品の棚補充等の作業 介護：配膳・下膳等、施設内の周辺業務
応募方法・お問い合わせ	HP（https://monoai-robotics.co.jp）

4．日程

（1）フィジカル AI 事業の開始（前回開示）	2026 年 8 月 14 日
（2）「即ロボ」の発表及び法人モニター募集開始	2026 年 11 月 13 日
（3）「即ロボ」の正式提供開始	未定（法人モニターでの検証後に決定）

5．今後の見通し

本件による当社の 2026 年 12 月期連結業績への影響は軽微であります。当期における法人モニターの実施に要する費用は、前回開示に記載した当期の特別支出見込み（2,500 万円）の範囲内で賄う予定です。

2027 年 12 月期以降の業績への影響は、法人モニターの検証結果を踏まえて料金体系及び提供体制を定めた段階で精査いたします。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上